

議会だより

ふな状た

No.183
2年/7



発行：山形県舟形町議会
令和2年7月24日



表紙のことは
15Pにあります。

いよいよ小国川鮎釣り解禁（一の関大橋付近）

5月臨時会・6月定例会・7月臨時会概要・質疑応答	2 P
議案の採決状況	6 P
町政を問う 一般質問に4議員	7 P
議会報モニターアンケートより	12 P
議会活動	14 P
えがったなあ・町民の声・編集後記	16 P



今年は期待できそう！

第1回臨時会
5月15日
6月定例会
6月9日～11日
第2回臨時会
7月7日

令和2年度一般会計補正予算

総額1億6070万円

6月定例会は、9日から11日までの会期で開催され、4人の一般質問に続き、一般会計補正予算等、全議案を原案どおり賛成多数により可決しました。

主な審議された議案

第1回臨時会

- 令和2年度一般会計補正予算
- 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定

6月定例会

- 令和元年度一般会計補正予算の専決処分の承認
- 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算の専決処分の承認
- 令和2年度一般会計補正予算
- 小型動力ポンプ付消防積載車の取得
(相手方・株式会社 長谷川ポンプ製作所)

第2回臨時会

- 福祉避難所建設工事請負契約の締結
- 防災拠点施設建設工事請負契約の締結

全議案の採決結果は6ページに掲載

主な事業（令和2年度補正予算）

- ▽学校ICT整備事業 …… 5909万円
(タブレットを利用した家庭学習等を実践できる環境を整備)
- ▽がんばれ舟形特産品応援事業 …… 2859万円
(若鮎まつりに向け準備していた鮎販売及び機器購入事業)
- ▽福祉避難所安全安心確保事業 …… 1200万円
(福祉避難所で使用する感染対策物資の購入費)
- ▽農畜水産物生産継続支援事業 …… 880万円
(農畜水産物の販売額が20%以上下落した農家に対する支援)
- ▽緊急経済対策事業 …… 420万円
(町プレミアム付き商品券発行事業補助金)
- ▽中学校広域スポーツ大会実施事業 …… 260万円
(地区中体連等が中止になった場合に独自の大会を開催)
- ▽町出身学生 食の支援事業 …… 70万円
(町外居住の学生に対し、町内特産品の提供を行い、学生を支援)

舟形町議会より森町長へ 新型コロナウイルス感染症対策について要望書を提出



提出日 令和2年5月13日
舟形町議会において、新型コロナウイルス感染症対策の緊急の課題に対して、どのようにしていくべきかを議論しました。その結果について、要望書として取りまとめ、行政運営に反映されるよう要望いたしました。

1、特別定額給付金の早期支給について
2、町独自の支援策について
3、児童生徒等への対応について

新型コロナウイルス感染症 対策への支援

発議3号 議会の議員の報酬の特例に関する
条例の設定について

提案理由

新型コロナウイルス感染症による町民の生活や地域経済への影響が深刻化する中、一層の支援が必要なことから、令和3年3月31日まで議員報酬の月額を減額する特例措置を行うため、提案する。

議会費 約200万円を減額

- ◆議員報酬の削減 (令和2年7月から令和3年3月まで)
月報酬額から7%を減額
- ◆旅費の削減
議員旅費及び職員旅費 51万2000円を減額



昨年の中央要望会（今年は取りやめ）

発議4号 舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置



農畜産物への影響を聞く (JAおいしいものがみより)

新型コロナウイルス感染症による町民の生活や地域経済への影響が深刻化する中、町民の不安を軽減し、その影響が最小限となるよう一層の支援が必要なことから、議会として情報を収集し、国、県、町の施策に対して、提案・要望を必要に応じて行なっていくことを目的として設置する。

○委員の定数
議長を除く9名の議員

○期間
令和2年6月11日～
令和3年4月30日

質 答 応 疑

第1回臨時会

令和2年度一般会計補正予算(第1号)

議員 ガンバルめがみちゃん応援キャンペーン事業補助金の内容は。

まちづくり課長 新型コロナウイルス禍の影響で収入が減った小規模事業所(小売・飲食・サービス)が、店独自のプレミアム商品券を発行した場合に補助を行うものです。町内事業所には30万円、町外事業所には20万円を上限に補助を行います。

ガンバルめがみちゃん応援キャンペーン
オリジナルプレミアム付商品券
好評販売中! 30%お得だモン!
有効期間 事業所ごとに掲載している期間
販売金額 1冊 5,000円
6,500円分(500円券×13枚)の商品券を購入いただけます。
1冊当たり1,500円(30%お得!)
※売り切れ次第終了 ※お1人様1事業所につき6冊までお買い求めいただけます。
▼注意事項
・販売店でのみご利用になれます。
・金額と同額の商品またはサービスと引換いたします。
・現金との引換は致しません。また、つり銭は出ません。
・盗難・紛失または滅失等に対して、発行者はその責を負いません。
・発行者印や番号のないもの、有効期限後については無効です。
【お買い求め先】各事業所

各店舗で200枚限定販売

議員 町プレミアム商品券発行事業について、町民の中でも買える方、買えない方がいると思うが、町民等しく行き渡るような施策はなかったのか。また、今後の対策で第2弾、第3弾の支援策を検討していく考えはあるのか。

町長 管内の町村では様々な独自支援策がありますが、各地域の事情が違うので実情に合わせて町独自の支援策を考えていくことで、今後、様々な状況に応じて、しっかりと町の実情を把握した上で必要な支援をしていきたいと思えます。

議員 町の緊急対策支援事業で500万円計上されているが、この事業の内容は。

まちづくり課長 国の持続化給付金と県の緊急経営改善支援金に該当しない方に対するの支援金です。

6月定例会

株舟形町振興公社経営状況の報告

議員 振興公社の業務は多岐にわたっているが、各分野ごとの職員数、人員配置はどのようになっているか。

まちづくり課長 令和元年度の職員数は21名です。内訳として、温泉・コテージが8名、加工所が3名、観光物産センターが3名、教育委員会への出向(調理員・業務員)が7名です。

議員 コロナ対策中のスポーツ大会の件で、中学校総合体育大会が中止となった場合に、舟形町独自のスポーツ大会をすることだが、感染症を防ぎながらの大会運営ができるのか。

町長 感染症対策については、国、県から試合等をする場合についての配慮事項が細かい内容で来ていますので、それらをクリアできるか確認をして対応していきます。

議員 舟形町特産品応援事業のうち機器購入の予算について、その内容は。

まちづくり課長 鮎焼機一式100万円×6台と、鮎の加工品を作るための殺菌真空パック装置を購入するための予算です。

議員 若鮎まつりを中止にしたが、まつり用に準備されている鮎2万尾は完売できるのか。新型コロナウイルス対策補正予算でもあり、40回の節目のまつりなので、町民の皆様には焼き鮎の一部を無料で配布する考えはないのか。

町長 販売については、予約制でドライブスルー方式や長沢生涯学習センター、堀内農村環境改善センターなどで行う予定です。町民全てにという鮎が足りない家庭もあると思うので、押しつけになってしまうのではと考え、あくまでも希望者に販売します。



コロナ対策でテーブル間隔を拡げて再開した若あゆ温泉

議員 令和元年度の温泉利用者数は7721人で、54%増えている。3月実績で244人増えているが、温泉売り上げが110万円減少している理由は。

まちづくり課長 温泉への入浴者数は増えていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で宴会がキャンセルになり、宴会を伴う温泉利用者数が減少したことが大きな要因です。

議員 営業利益率がたいへん厳しい結果だが、支出の消耗品費が対前年度比17.7%増加している理由は。

まちづくり課長 温泉改修後、お客様の増加と消費税アップに伴い、軽減税率対応レジの購入、お客様ロッカーの鍵買い替え、消火器等の購入により増加しました。



昨年の若鮎まつりで提供された焼き鮎

議員 小型動力ポンプ付消防積載車2台の落札率と配備予定町内、また、当初予算から83万円ほど減額されているが、その内容は。

住民税務課長 落札率は97.07%で、経壇原、長者原の2町内消防団に配備されます。予定価格は3社の市場調査価格の平均を採用しており、車種装備等の変更はありません。

議員 6月11日に西堀・木友地内で林野火災が発生したが、近隣に住宅があるにもかかわらず、水害が非常に脆弱と感じたが、今後強化する考えは。

町長 防災上、今回の火災により消防施設整備の見直しが必要だと認識しました。今後は西堀・木友地区だけでなく、全町的に整備計画の見直しに着手していきたいと考えています。



室内用の簡易陰圧テントと空気清浄機

地域整備課長 室内用の簡易陰圧テントに空気清浄機を付け除菌を行うテントを10セット、避難者の体力低下防止のための折りたたみベッド100基、シーツ100枚、マットレス40枚、毛布200枚の購入費です。

議員 新型コロナウイルス感染症対策費、福祉避難所の安全安心確保事業の内容は。

町長 議員さんの考えはたいへん素晴らしいと思いますが、私自身は減額するというようなパフォーマンスではなく、しっかりと町民の皆様のため、地域のために働くことが第一だと考えています。

議員 議員全員の発議により、議員報酬を7月から3月まで7%減額、更には活動等についても自粛するという事で、200万円程を減額したが、そのことについて町長の考えは。

令和2年度一般会計補正予算(第2号)

町政を問う

一般質問に4人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が町民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。
(本会議での持ち時間は一人40分)

叶内 昌樹 議員

8ページ

デジタルファーストについて

奥山 謙三 議員

10ページ

「新しい生活様式」普及、推進への取り組みは

荒澤 広光 議員

9ページ

自転車保険義務化、町としての対応は

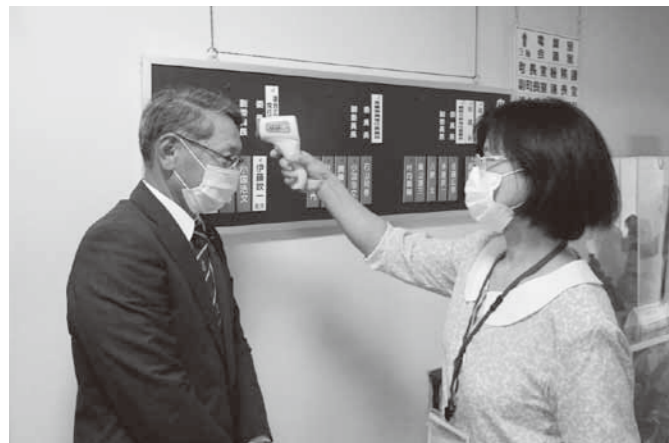
斎藤 好彦 議員

11ページ

避難所の集団感染予防策は

<一般質問 掲載要綱>

- 議会だより一般質問本文への掲載件数は、2件以内で、3件目以降はタイトルのみ掲載する。
- 本文は、内容を要約し掲載しています。



議場入場前に検温を徹底



庁舎内各所に設置されているアルコール消毒剤(議場前)

議案審議

令和2年 第1回臨時会 議案の採決状況

議案番号	議案名	採決状況										採決結果								
		○賛成	×反対	⊖欠席	⊖退席	⊖除斥	1	2	3	4	5		6	7	8	9	10			
議案37号	令和2年度舟形町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案38号	令和2年度舟形町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案39号	舟形町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案40号	舟形町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議3号	議会の議員の報酬の特例に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和2年 第2回定例会 議案の採決状況

※ 報告は採決を行わない。

報告番号	報告名	採決状況	採決結果
報告1号	令和元年度舟形町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告	— — — — — — — — — —	※
報告2号	令和元年度株式会社舟形町振興公社経営状況の報告	— — — — — — — — — —	※
報告3号	令和元年度舟形町防災行政無線デジタル化改修工事請負契約の一部変更についての専決処分の報告	— — — — — — — — — —	※
承認2号	令和元年度舟形町一般会計補正予算の専決処分の承認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	承認
承認3号	令和元年度舟形町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算の専決処分の承認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	承認
承認4号	職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	承認
承認5号	舟形町税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	承認
承認6号	舟形町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	承認
承認7号	舟形町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	承認
承認8号	舟形町介護保険条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	承認
議案41号	令和2年度舟形町一般会計補正予算	× ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	可決
議案42号	小型動力ポンプ付消防積載車の取得	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	可決
議案43号	舟形町印鑑条例の一部を改正する条例の制定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	可決
議案44号	舟形町税条例の一部を改正する条例の制定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	可決
発議4号	舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	可決

令和2年 第2回臨時会 議案の採決状況

議案45号	舟形町福祉避難所建設工事請負契約の締結	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	可決
議案46号	舟形町防災拠点施設建設工事請負契約の締結	○ ○ ○ × ○ ○ × ○ ○ ○	可決

* 議長は採決に加わりません。

◆令和2年 第2回定例会 会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前(10:00~12:00)	午後(13:00~16:00)	傍聴者数
6月9日(火)	本会議	・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問2名 終了後、全員協議会 各常任委員会	16名
6月10日(水)	本会議	・議案審議 (報告第1号~報告第3号 承認第2号~承認第8号)	全員協議会	2名
6月11日(木)	本会議	・議案審議 (議案41~議案44号)	・発議第4号 ・付託審査報告 ・閉会中の所管事務調査報告 終了後、議会広報常任委員会	3名



荒澤 広光 議員

自転車保険義務化・町としての対応は 広報誌で周知し、具体的情報を提供する



TSマーク
・点検整備済み
・賠償責任補償

自転車点検整備済み・賠償責任補償の証：TSマーク

質問 自転車の事故防止を目的として、山形県でも2019年12月に「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行され、今年7月1日から自転車保険への加入が義務化されます。舟形町でも自転車保険加入義務化に向けて、自転車保険を取り扱う保険会社の情報提供、各家庭で

所有している自転車の保険加入状況の把握が急務だと認識していますが、自転車保険義務化に向けた町としての具体的な対応状況を伺います。

自転車を利用している児童生徒の保護者に対する啓発を行うよう努める、

学校では、これまでの安全教育的に加え、自転車に乗る機会が多い児童生徒の保護者に対し、4月のPTA総会資料の中で自転車保険への加入をお願いしています。今後の町の対応としては、これまで同様、保育園のなかましかクラブでの交通安全教育、小中学校での交通安全教育を通じた交通ルール、マナーの徹底といった、事故を起さない、遭わないという事故防止対策を継続して取り組むことが重要と考えています。自転車保険への加入促進につ



いては、町広報誌等での周知のほか、交通安全関係の会議の際などの機会も捉えて、広く呼び掛けていきます。

質問 普段、自転車を家の近くで乗る子どもたちへの加入のお願いが必要だと思えますが、



叶内 昌樹 議員

デジタルファーストについて 持続可能な地域社会を実現



小・中学校に1人1台タブレット端末配備
(イメージ写真)

質問 第7次舟形町総合発展計画に掲げる、デジタルファーストプロジェクトとは、行政手続きの電子化による効率化及び町民生活の利便性向上につながる事業のようであるが、どのようにICTの活用を考えているのかお聞きします。

町長 デジタルファーストプロジェクトは、デジタルファースト法（デジタル手続法）の趣旨も踏まえながら、AI（人工知能）やICT（情報通信技術）の活用を目的とするものです。今年度の機構改革で新たにデジタルファースト推進室を設置し、先進的な少数社

会を目指すべく、ICT活用の方向性や具体策について各課横断で検討していきます。

構想は、今後どのように取り組んでいくのか伺います。加えて、今回の特別定額給付金の申請にあたって、オンライン申請の場合は世帯主より申請者への給付が望ましいと思いますが、伸び悩むマインバーカードの取得数とオンライン申請数はどのようになっているのか伺います。

これをICTに関わる施策を展開するため、各課職員で構成するワーキンググループを立ち上げ、町の課題に対してどのように活用するかを検討し、まずは各種行政手続きの電子申請を導入するなど、利便性の向上につなげていきたいと考えています。

教育では、今年度中に「子どもの学び」を保障できる環境づくりのため、小中学校に1人1台タブレット端末を配備し、段階的に双方向性を活かした授業に取り組みます。また、通信環境が整っていない家庭用として、貸

出用機材を配備します。マインバーカードの取得件数は5月31日現在で全人口の10.6%の5

22件で、給付金のオンライン申請数は7件となっています。



令和2年度に新設されたデジタルファースト推進室



齋藤 好彦 議員

避難所の集団感染予防策は

ガイドラインに基づき対応する



感染症対策が必要な一時避難所

質問 世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっている、たいへんな状況になっています。1月に首都圏を中心に感染者が急増し、山形県においても3月末に感染者が確認された後、急激な勢いで県内全域に感染が広がりました。5月中旬になり新規感染者数が減少傾向に転じ、緊急事態宣言も解除され、日常生活も徐々に

に元に戻りつつあります。しかしながら、この間各地で大雨による土砂災害や地震発生も数多く確認されており、感染拡大防止策による自粛生活の中、不安に過ごされた方々も多くいたものと推測をいたします。このような行動制限の中で災害が発生した場合、避難方法・場所など町民のパニックが想定されます。

これまで経験がない状況での避難所の在り方について、早急な対策が必要と考えます。町長の考えを伺います。



3密解消へ早急な対策を (H30.8.31)

避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」が示されており、ガイドラインに基づき行いたいと思っています。ガイドラインでは、避難の際は、町民の方にマスク、消毒液、体温計を持参することを周知することになっておりますので、非常時の持ち出し品に加えるよう、広報誌等で周知していきます。避難者が避難した場合は、受付で新たに健康状態チェックカードを記載していただくこととなります。その時、発熱のある方などは、一般の方と同じ避難スペースではなく、個別の専用の避難スペースに誘導し、一般の方と接触

しないようにしていきたいと思っております。受付での健康チェックを万全にする必要があることから、避難所に配置する職員を増員し、職員は、マスク、フェイスシールド、手袋といった感染対策を行なったうえで対応します。また、ガイドラインには、避難者ごとの避難スペースの距離を1m以上、できれば2mと明記されています。平成30年8月豪雨災害の際、中央公民館には、最大227名の方が避難しました。その方が避難するため、舟形小学校も使用し、避難先を分散していきたいと考えており、来年度開設の福祉避難所をも含めた、避難所の在り方を引き続き検討していきます。



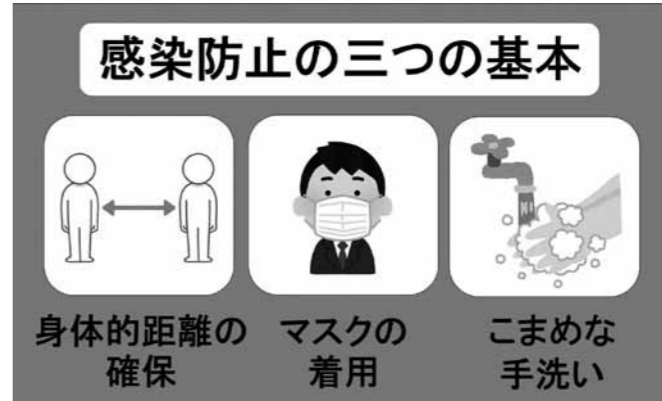
日常生活で実践することが大事 (厚生労働省ホームページより)

町長 「新しい生活様式」については、大きく4つの項目があります。1つ目の「一人ひとりの基本的感染対策」と2つ目の「日常生活を営む上での

基本的な生活様式」では、身体的距離の確保、マスク着用、手洗い、移動に関する感染対策、消毒、咳エチケットの徹底、こまめな換気等、密閉・密集・密接のいわゆる3密の回避を全国レベルで実施するものです。町ではこれまで10回、全戸にチラシを配布し、周知を図ってきました。今後も気を緩めることなく、周知を図ってまいります。3つ目の「日常生活の各場面での生活様式」では、買い物、娯楽、スポーツ、食事など個人の生活の場面に係るものを中心となりますが、既に実践されていると思われる。4つ目の「働き方の新しいスタイル」については、各事業所において、業種

ごとの感染予防ガイドラインに沿って、実行可能なところから行なっていくと考えています。ただいまのところ、現状ではテレワークを実施できる状況にありません。「新たな生活様式」の普及、推進については、県の啓発事

業の内容を確認しつつ、今後とも継続した取り組みが必要であり、できるものから普及、推進を図っていくとともに、感染状況の変化により、新たな方針が出されれば、速やかに対応していきます。



皆でまもり感染防止

を予測しています。私たちは、しばらく新型コロナウイルスと付き合っていく覚悟を持ち、制圧まで影響を最小限に抑える社会を作っていくかなければなりません。国では、長丁場の対応を前提とした「新たな生活様式」の具体例を提言しました。内容は、町民にお願いすること、町が率先して行い、周知をすることなどがあります。町としての「新しい生活様式」の普及、推進への取り組みを質問します。

基本的な生活様式」では、身体的距離の確保、マスク着用、手洗い、移動に関する感染対策、消毒、咳エチケットの徹底、こまめな換気等、密閉・密集・密接のいわゆる3密の回避を全国レベルで実施するものです。町ではこれまで10回、全戸にチラシを配布し、周知を図ってきました。今後も気を緩めることなく、周知を図ってまいります。3つ目の「日常生活の各場面での生活様式」では、買い物、娯楽、スポーツ、食事など個人の生活の場面に係るものを中心となりますが、既に実践されていると思われる。4つ目の「働き方の新しいスタイル」については、各事業所において、業種

業の内容を確認しつつ、今後とも継続した取り組みが必要であり、できるものから普及、推進を図っていくとともに、感染状況の変化により、新たな方針が出されれば、速やかに対応していきます。



奥山 謙三 議員

「新しい生活様式」普及、推進への取り組みは 継続した取り組みが必要

◆討論について (18ページ)

- ・賛成、反対の意見とも、自分たちの生活の安全・安心のためには大切な意見だと思った。災害が起きないことを願う。
- ・なぜ賛成か、なぜ反対か、比べて読めるのは良い。
- ・賛成・反対の双方の意見が載っていて良かったが、7ページの採決状況表と続きのページにした方が、もっと見やすくわかりやすいのではないかな？
- ・今までのように災害が起こってからあたふたと動くより、拠点施設、それに携わる人員が配置されていた方が安心だと思う。

◆人事案件、議会活動、えがったなあ等について (19~22ページ)

- ・四字熟語に込められたそれぞれの思い~議員さんの選んだ四字熟語で、その方の人柄がわかるような感じがして、とても良かった。
- ・四字熟語、議員さんの人柄が出ているようでおもしろい。
- ・議会活動のほかに、議員個人の活動報告等も知りたい。「えがったなあ」は、本当にえがったなあ、おめでとう、お幸せにという気持ちで祝福して見られるし、自分も幸せをもらえたような気がして良い。
- ・これからの舟形町を支えてくれる人事だと思います。えがったなあは毎回楽しみにしています。2人の笑顔がとてもすてき。

◆議会・町に対する意見等、その他

- ・モニターをすることで、議会、議員さんが近くなった気がする。これを機にいろいろ勉強していきたいと思っている。よろしくお願いします。
- ・会合が開けない今、何をすることも大変だと思う。ご苦労さまです。
- ・保育園の駐車場と園庭とのあいだに柵を付けてほしい。
- ・保育園や小学校前の道路が狭すぎる → お寺からのスクールゾーンにコンクリートの側溝蓋ふたが必要だと思う。
- 避難所マップが欲しい。
- ・町営住宅隣の公園内のゴミが気になる。
- ・モニターアンケート記入をPC、タブレットでできるようにしてほしい。
- ふるさと納税の返礼品の電話の問い合わせが、R2.3.31から休止のままなのだが、まだ更新しないのか？歳入額にも影響が出ているのではないかな？
- ・このコロナウイルスの感染で、これまでにない危機に直面していますが、10万円の特別定額給付金の申請なども滞りなく、町民に届くように願いたい。町・議会・町民が一体となって、コロナ禍を乗り越えることができたら良いと思う。

モニターさんのご意見にお答えします

Q. 避難所マップが欲しい。

- A. 舟形町ホームページに「舟形町土砂災害・水害ハザードマップ」(町内会別)や指定避難所一覧等を掲載しています。また、令和2年度中に新しいハザードマップを作成します。

Q. ふるさと納税の返礼品の電話の問い合わせが、R2.3.31から休止のままなのだが、まだ更新しないのか？

- A. ふるさと納税の委託先が4月から変更になったことにより、電話工事をを行った期間、休止していましたが、現在は問い合わせ可能となっています。
問い合わせ先：舟形町ふるさと納税サポートセンター ☎32-1866

今回から5名の新モニターさんになり、数多くのご意見をいただきました。編集会議で検討して、改善できるところから行なっていくと考えています。1年間、よろしくお願いします。



貴重な意見ありがとうございます。 議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、町内在住の5名の方に議会報モニターを委嘱しています。今回は議会だより182号(4月24日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しています。いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

◆表紙について

- ・こんな時代だからこそ、いつも以上に子どもたちから元気ももらえた気がした。とても良かった。
- ・学童保育での新1年生の笑顔。今のこの時期の特殊な事情と、その中で過ごしている子どもたちの生活のひとこまがわかる。
- ・時期に合ったもので良かったと思う。
- ・新型コロナウイルスで、世の中が暗く、先が見えない状況なので、元気いっぱいの子どもの笑顔に勇気もらえるので良いと思う。
- ・このコロナ禍の時期に子どもたちの笑顔は最高。

◆定例会概要、特別委員会概要、質疑応答について (2~6ページ)

- ・危険ブロックの箇所数は私も気になった。危険度の高い場所がわかると自分たちも気を付けられるので、知りたかった。
- ・デジタルファーストプロジェクト?? ピンとこないのはネーミングの問題かな。アナログの良さを残しつつお願いしたい。
- ・見えないお金の動きが一般の人にわかりやすく、良かったと思う。
- ・歳入のふるさと納税額が少なくなった要因はわかったが、少なくなった額をどのようにカバーしていくのかを載せていないのが、残念で不安に思う。
- ・何が起きるかわからない世の中であって、防災力強化は必要。

◆採決状況表について (7ページ)

- ・「x」をつけた議員さんの理由がわかると良かったと思う。
- ・個々の考えが一目で分かる表はたいへん良いと思う。字が細かすぎると読む気が失せる。わかりやすく、読みやすく願います。
- ・採決の表示は、見える化で良いと思うが、18ページの反対・賛成討論を続きのページにおいた方が、もっと見やすいし、わかりやすいのではないかな？
- ・採決状況表は、議員一人ひとりの考え方が見えて良かった。

◆一般質問について (8~15ページ)

- ・各町内会びじょん、私も「地域の目標」達成に向け、地域の住民と一緒に頑張りたいと思う。議員さんにも取りあげてほしい。
- ・15ページの通帳の写真は、暗くてわかりづらく、あまり意味がないような…
- ・町のことを考えての質疑応答がすごく伝わった。まだまだ解決していかなければならないことが多い。写真や図も多くわかりやすかった。
- ・各議員の皆さんが、町内・地区の代表として声を拾いあげ、見直し、提言にとどまらず、町長の返答に対して要望したことや経過等も知らせてほしい。行動力を発揮して、住みよい所になるよう期待する。
- ・一般質問の内容も多岐にわたり、舟形町の問題点を議論している。そこで達成できた内容なども、議会だよりに盛り込まれるようになれば良いのではないかな。

特集

タブレット導入のその後

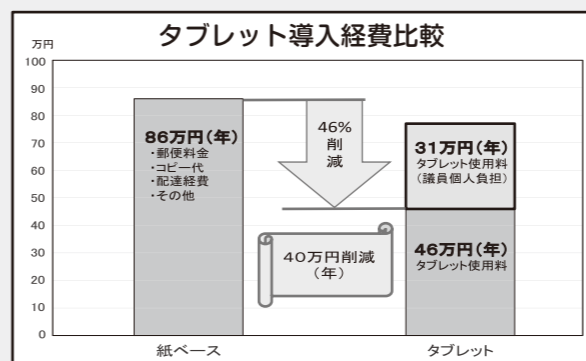
議会活動の迅速化

舟形町議会では、平成30年12月定例会より、タブレット端末を導入し、本会議や委員会、議会報告会、視察研修等の議会活動に積極的に利用してきました。
導入当初は紙資料を併用していましたが、現在は、本会議や委員会等に使用する資料の全てを電子化し、タブレット端末で閲覧し、審議や調査を行なっています。
導入以前は議会活動に必要な大量の資料を持ち歩いてきたのが、現在はタブレット端末一台で、どこでも必要な資料を取り出せるようになりました。

また、今まで電話やFAXで行っていた事務局とのやりとりも、迅速でより正確な情報共有を行うことができ、議会活動の効率化につながっています。
経費としては、議員10名が月々にかかる使用料の半分を負担しており、さらなる議会活動の充実を目指し、日々努めています。

タブレット導入の経過

- 議会活動の効率的な運営と質の向上を図るため、平成29年1月より先進地研修会やセミナー等への参加などを行い、タブレット端末の導入を検討してきました。
○ 平成30年12月定例会より、本会議にてタブレット端末を使用し議案審議等を開始し、現在は全員協議会・常任委員会等の会議でも使用しています。



今後タブレットを使用したウェブ会議を実施するための研修

タブレット導入の効果

- ① 議会運営及び議員活動の充実
・チャットやスケジュールアプリ等を活用し、迅速でより正確な情報共有や連絡・日程調整が可能となりました。
・町民との対話や議会活動・現地調査時に、必要な資料を即座に検索し閲覧が可能となり、より効率的な活動が実現出来るようになりました。
② 議会運営に係る経費の節減等
・資料等のデータ化による紙資源の節減。印刷・製本・配布作業が減少し、用紙・コピー使用料・郵便料・配達経費等(年間約40万円)の削減効果がありました。

経済対策が急務

産業振興常任委員会所管事務調査

- 1. 期 日 令和2年5月21日(木)
2. 調査内容 新型コロナウイルス
感染症による影響について

① 町建設業協会(長倉会長、八蹴副会長)

現在の状況 町協会加盟8社での受注減少などの影響はほとんどないが、塗装業など個人事業者への発注減少があり、事業者は苦慮しているとの説明があった。

② 対応策 今年度予定の町発注の工事等について、早期発注などの対応を講ずるべきである。

② 櫛キリウ山形(稲毛総務部長)

現在の状況 新型コロナウイルス発生後、メーカーからの受注が激減し、前年対比で50%減の売り上げ状況であり、4月中旬から月の半数は休業の就業体制である。

② 対応策 雇用調整助成金等の申請手続きを行うなど、会社経営の持続と社員の生活を守るための企業努力をしており、町としても支援策を早急に検討すべきである。

③ もがみ南部商工会

(渡辺事務局長、原田舟形事務所長)

① 現在の状況 商工会への相談も90件を超え、サービス業(飲食業)を中心に厳しい状況になっている。商工会としても、助成金の申請手続きなど全面的にサポートしている。

② 対応策 国、県、町の支援策の情報提供、相談会の開催など、地域経済の早期回復に向け、町独自の支援強化に努められたい。

運動不足解消・学力低下対策を

総務文教常任委員会所管事務調査

- 1. 期 日 令和2年5月28日(木)
2. 調査内容 新型コロナウイルス対策について
○健康福祉課
(一) 検診の遅延及び高齢者の
運動不足・体力低下の対応について

① 町担当者からの説明
●健康診断が年後半に移行了した場合、来年の健康診断時期との間隔が短くなるのが懸念される。乳幼児検診等についても分散検診の予定だが、受診者に日時が確実に連絡になること、安全で安心して受診出来るよう配慮したい。

●多くの事業が自粛されている中、運動不足・体力低下解消のため、自宅での運動にも健康ポイントを付与し推進したことは評価したい。

○教育委員会

- (一) 小中学生の学力及び体力低下の対応について
① 町担当者からの説明
② 所感
●学習ドリルを活用しての家庭学習だが、児童生徒個々の習熟度を把握しながら、学年の到達度を考慮し学力向上に努められたい。
●ICT環境については、タブレットを使える環境を早急に整備する必要がある。

- 県中学校総体中止、また、地区大会が中止になれば、町独自で大会を開催する必要があるのか疑問である。この機会に、多忙になり過ぎた学校行事やスポーツ大会を見直すべきではないか。生活困窮者の子供には、手厚く十分な対応をお願したい。
●新型コロナウイルスの影響を受けている方に、平等に町民からも見える形での対応を望む。

陳情

6月定例会で審査した陳情は次のとおりです。

陳情者 山形県医療労働組合連合会
執行委員長 渡辺 勇仁

●看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出に関する陳情

継続審査

●介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出に関する陳情

継続審査

表紙のいよび

今年度は新型コロナウイルスの影響が心配される中、7月1日に小国川の鮎釣りが解禁となり、大勢の太公望が竿を入れました。一人で100匹以上釣り上げる方もいて、楽しみなシーズンになりそうです。
町内の小国川での鮎釣り大会が中止となり、釣り客の減少が懸念されますが、新型コロナウイルスの一日も早い収束を願い、多くの皆様が清流小国川に足を運んでくださることを期待します。



議会のこぼれ

議会のこぼれスケジュール表。4月1日(転入教職員辞令交付式)、5月8日(議会運営委員会)、6月3日(議会運営委員会)など。

次回の定例会は 9月2日(水)～10日(木) までの予定です。



今回は、堀内の富樫庸輔さんと結婚した、舟形町出身の唯(旧姓:伊藤)さんです。
皆さんよろしく申し上げます。

♥どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか?
行っている美容室が一緒で、そこのお店の人の紹介で知り合いました。

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうですか?
生まれも育ちも舟形なので、大きな変わりはないですが、嫁いだ所が子供たちを外でたくさん遊ばせることができるので、良かったです。

♥舟形町の良いところ・悪いところは?
良い↓公園や支援センター等、子供たちが遊ぶ所があり、育児の相談や、ほかのママたちとの交流の場も設けられてるので、安心して子育てできるところ。
悪い↓ドラッグストアが欲しい。

♥舟形町に望むことはありますか?
子育てに力を入れてるので、今ある公園のほかに大きな公園や、土・日も使用できる室内遊技場等があると、町外の方も集まって、舟形町をもっと知ってもらえると思います。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先)

舟形町役場議会事務局
☎32-0030 (直通)



皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私の住む舟形第2町内は、36世帯97人が暮らしています。

日頃、大きな事件や事故も無く、平和な町内で暮らすことが出来るのも、町内会長を中心に様々な活動を通じて、地域住民の連携が取れているからだと思います。現在は、活動の中心は父の年代位の方々に構成されており、次の世代はたいへん少ない状況となっております。各町内も同じような状況だと思いますが、現在の町内会活動や消防団活動等が、現状と同じく今後継続していけるかと、たいへん不安に思います。

最近では、大地震や大雨等の未曾有の災害が毎年全国各地で起こっています。数年前の大雨では近所の八幡神社が被災し、現在も補修中となっております。このような災害も身近なものとして捉え、尚一層、地域の連携が重要なものと改めて感じています。
今後、一層高齢化が進み、様々な課題が出てくると思います。議会の皆様にもご協力いただき、より暮らしやすい舟形町になることを期待しています。



沼沢 圭治 さん
(舟形第2)

(議会より)
地域の連携が重要なものと議会でも感じております。

編集後記

新型コロナウイルスの感染が拡大してからわずか5か月で世界情勢や社会情勢が大きく変わり、生活様式が一変し、経済成長も大きく崩れたのではないのでしょうか。県内では2か月ぶりに新たな感染者が発生し死者も1人確認されました。

今後、新型コロナウイルスとの共存、新しい生活様式を取り入れる姿勢、第2波など感染拡大に対する備えが必要です。

また、この度の九州地方などの大規模災害は、2年前の県内被害をはるかに上回る災害であり、自然災害の多い日本では、コロナ禍を見据えた避難の心構えが必要であると改めて考えさせられました。
(叶内 昌樹 記)

発行責任者

- | | |
|-----------|---------|
| 議長 | 八 欽 太 |
| 議会広報常任委員会 | |
| 委員長 | 伊 藤 欽 一 |
| 副委員長 | 小 国 浩 文 |
| 委員 | 石 山 和 春 |
| 委員 | 荒 澤 広 光 |
| 委員 | 叶 内 昌 樹 |